

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
加西市	病院事業	—	

実施状況

抜本的な改革の取組						
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用		
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用

現行の経営体制を継続
●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

市立加西病院は現地に昭和49年に新築移転してから50年以上が経過しており、本館の耐震問題に対応するため、令和元年度より現地での新棟建替えが検討されてきました。令和5年度に現地建替えから移転建設と方針を見直し、令和6年度に新病院の建設に向けた基本的な方向性や計画の議論を行い、令和7年1月に基本構想基本計画をまとめました。今後は、基本構想基本計画を元に、基本設計、実施設計を行い、新病院建設に向けて準備をしていきます。

既に実施している経営改善策としては、北播磨医療圏や近隣医療圏の医療ニーズに対応するため、急性期一般病床を減少し、地域包括ケア病床中心への機能変更を行っています。高度専門医療や、広域政策医療については、連携している基幹病院に依頼する一方、当院は、主に市内の時間外初期救急及び2次救急医療の機能を受け持つことに加え、地域包括ケア病床を活用し、回復期の患者さまを受け入れることで相互補完しています。また、当院での回復期を経過した後、地域の療養期の病院とも連携することで、患者さまが住み慣れた地域での暮らしに戻ることができるよう協働する体制をとっています。

一方、病・診連携においては、患者さまの診療情報の一部を本人同意のもと共有するシステム「北はりま絆ネット」の活用、加西病院院内にかかりつけ医である診療所の医師と連携して患者さまを診る「開放型病床」を導入するなど、協働に取り組んでいます。

医師の確保については、引き続き地域における医療従事者の育成・教育のための人材交流及び基幹病院からの医師等の派遣を受ける体制を整えていくとともに、当市の医師確保奨学金制度の推進や、地域医療を目指す医師への情報提供、募集に向けたPRに注力していくなど対策を図っています。

当院は市内唯一の総合病院として、地域の医療ニーズにあった医療機能を確保しつつ、病病連携や病診連携を強化し、利用者から期待される役割を果たしながら、持続可能な経営ができると見込み、現行の経営体制・手法の継続を選択しています。